

## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日

上場会社名 株式会社 藤商事 上場取引所 東  
 コード番号 6257 URL <https://www.fujimarukun.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今山 武成  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 村上 和繁 TEL 06-6949-0323  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,504	58.5	56	—	171	—	287	—
2022年3月期第1四半期	3,473	4.8	△1,776	—	△1,734	—	△2,176	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 12百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △2,175百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	12.83	—
2022年3月期第1四半期	△97.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	42,549	36,079	84.8
2022年3月期	45,404	36,626	80.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 36,079百万円 2022年3月期 36,626百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	1.3	1,500	—	1,500	—	1,200	—	53.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、年次で業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	24,395,500株	2022年3月期	24,395,500株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,000,045株	2022年3月期	2,000,045株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	22,395,455株	2022年3月期1Q	22,395,455株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、2022年7月29日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症への対策が進むなか、経済活動が徐々に緩和されたことにより持ち直しの動きがみられましたが、原材料価格の上昇や供給面での制約などには留意することが必要な状況が続いております。

パチンコホール業界におきましては、のめり込み防止や依存症対策の一環として過度の射幸性を抑えた遊技機の導入に加えて、店内の換気や消毒・清掃の徹底など新型コロナウイルス感染防止対策を講じており、さまざまな取り組みを通じてファンの皆様がパチンコ・パチスロをより安心・安全に楽しめる環境づくりを推進しております。

遊技機業界におきましては、パチンコ遊技機ではヒットタイトルが複数登場するなどパチンコホール様での稼働も堅調に推移いたしました。パチスロ遊技機では有力タイトルの供給不足などもあり、稼働面では引き続き低調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては持続的な成長に向けて市場トレンドの先端を行く機種開発による稼働力向上を最重点課題として取り組むとともに、商品力を備えた新機種の継続的な市場投入を通じてホール設置シェア拡大と販売台数の底上げを図り、企業業績のさらなる向上に努めております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、対戦格闘ゲームの人気タイトルをモチーフにしたパチンコ遊技機を市場投入し、販売台数の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高55億4百万円（対前年同期比58.5%増）、営業利益56百万円（前年同期は営業損失17億76百万円）、経常利益1億71百万円（前年同期は経常損失17億34百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億87百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失21億76百万円）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

#### (パチンコ遊技機)

パチンコ遊技機につきましては、「PストリートファイターV」（2022年5月発売）を市場投入したほか、その他のシリーズ機種などを継続販売いたしました。以上の結果、販売台数は15千台（対前年同期比37.0%増）、売上高55億2百万円（対前年同期比58.5%増）となりました。

#### (パチスロ遊技機)

パチスロ遊技機につきましては、当第1四半期連結累計期間での新機種の発売はありませんでした。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は288億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億13百万円減少いたしました。これは主に、原材料及び貯蔵品が7億89百万円増加したことに対し、現金及び預金が17億50百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が10億28百万円減少したことによるものであります。固定資産は137億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億41百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金資産が1億43百万円増加したことに対し、投資有価証券が3億73百万円、建物（純額）が2億14百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は425億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億54百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は45億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億89百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が22億58百万円、賞与引当金が1億57百万円減少したことによるものであります。固定負債は19億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億18百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金負債が91百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は64億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億7百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は360億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億47百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2億87百万円および剰余金の配当5億59百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は84.8%（前連結会計年度末は80.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,278	17,528
受取手形、売掛金及び契約資産	5,175	4,147
商品及び製品	371	0
原材料及び貯蔵品	3,800	4,590
前渡金	1,650	1,894
未収還付法人税等	304	308
その他	700	511
貸倒引当金	△137	△149
流動資産合計	31,144	28,831
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,055	2,840
土地	3,152	3,152
その他（純額）	1,730	1,710
有形固定資産合計	7,938	7,703
無形固定資産	503	540
投資その他の資産		
投資有価証券	2,635	2,261
長期前払費用	2,347	2,236
繰延税金資産	172	315
その他	1,150	1,148
貸倒引当金	△488	△488
投資その他の資産合計	5,818	5,474
固定資産合計	14,259	13,718
資産合計	45,404	42,549

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,043	2,784
未払法人税等	101	0
賞与引当金	312	155
その他	1,274	1,602
流動負債合計	6,731	4,542
固定負債		
退職給付に係る負債	752	758
繰延税金負債	349	257
その他	944	911
固定負債合計	2,045	1,927
負債合計	8,777	6,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	31,407	31,134
自己株式	△2,324	△2,324
株主資本合計	35,592	35,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	980	719
退職給付に係る調整累計額	52	39
その他の包括利益累計額合計	1,033	758
純資産合計	36,626	36,079
負債純資産合計	45,404	42,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	3,473	5,504
売上原価	1,741	2,642
売上総利益	1,731	2,862
販売費及び一般管理費	3,508	2,805
営業利益又は営業損失(△)	△1,776	56
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	28	34
利用分量配当金	1	4
違約金収入	—	75
その他	13	17
営業外収益合計	44	131
営業外費用		
賃貸収入原価	1	1
貸倒引当金繰入額	—	14
その他	0	0
営業外費用合計	2	16
経常利益又は経常損失(△)	△1,734	171
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,735	172
法人税、住民税及び事業税	15	8
法人税等調整額	425	△122
法人税等合計	440	△114
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,176	287
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,176	287



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,176	287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	△261
退職給付に係る調整額	△35	△13
その他の包括利益合計	0	△274
四半期包括利益	△2,175	12
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,175	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理および開示に関する取扱いの適用)

当社および連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税および地方法人税ならびに税効果会計の会計処理および開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。